

教材研究ノート№3-C-3

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・gをkgに直したり，kgをgに直したりする学習をしている。

○既習とつなぐ見方・考え方

・全体から部分をひくと，残りが求められることを学習している。

○共同追究でのゆさぶり

・重さについて，単位をそろえて差を考える学習は初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・2年「長さ」「かさ」の学習で，差を求める学習をしている。

≪学習問題≫

≪学習問題≫

白菜漬をつくりました。全体の重さは，

6kg100gでした。たると白菜の重さは，

合わせて3kg700gです。

水の重さは，何kg何ｇでしょうか。

主眼

授業計画･実施記録

②見通し：差を求めれば水の重さが求められる。どのようにひき算をすればよいのだろう。

 →　単位をそろえれば計算できそうだ。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

②学習課題：単位をgにそろえたり，ひっ算の形でkgとgの単位をそろえたりして，ひき算する方法を考えよう。

③個人追究：kgをgに直したり，ひっ算の形で単位をそろえたりして，ひき算する方法を説明する。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どのやり方にも共通していることは何だろう？」

→「どれもgやkgに単位をそろえて計算している。」

④共同追究後半（思考を深める）

「重さでも，ひっ算の形で計算することができるのだろうか？」

→「長さやかさでも，単位をそろえて計算することができた。」

　「長さの学習でも，3ｍ20㎝－1ｍ40㎝を，単位をそろえてひっ算の形に直して計算することができた。重さでも，同じように計算できるはずだ。かさでも計算できた。」

⑤まとめ（子どもの言葉で）

・重さも，単位をそろえることにより，計算できる。

・kg同士，g同士をそろえれば，長さやかさと同じように，ひっ算の形で計算することができる。

⑥定着･活用問題

1kg800gの重さの箱に，キャベツを入れたら，全部で7kg400gになりました。キャベツの重さは，何kg何gでしょうか。

1. 単位をgに直して計算しましょう。
2. kgとgの単位をそろえ，ひっ算の形で計算しましょう。

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・課題把握では，差を求めることからひき算になることを確認し，長さやかさの学習から，単位をそろえることを確認したい。

・共同追究の最終場面では，計算で求めた結果を確かめる意味で，実際に重さを量り，確認することも取り入れたい。（課題把握の場面で，実際に重さを量り，計算方法を考えさせてもよい。）

≪定着・活用問題≫

【板書計画】